

むかいしま ゆた しぜん い 『向島の豊かな自然と生きものたち』

だい かい むし た もの 第32回 虫の食べ物

すごい数の種類の虫たちが地球上でこれだけ繁栄している理由のひとつは、虫たちがいろいろなものを食べるからだだと思います。

棲む環境にあわせたのか、食べ物にあわせたのか、じつに様々な場所でいろいろな虫がいろいろなものを食べています。

葉っぱ、樹液、花のみつ、水中の小昆虫、くさった樹木、菌にからまれた植物や木の根っこを食べたり、アリのおしりから出る液をなめたり、チョウの幼虫のおしりをなめるアリやら、土の中に動物のウンコを運び込んで子育てする虫やら…虫の種類の数だけいろいろな食べ方があるのでしょうか？

虫の体は小さいですが、その数が多いためにものすごい量の食べ物が必要となります。田んぼや畑、森の中、川原、草原、低い山、高い山、都市部の公園など、あちこちに虫の食べる物があります。

落ち葉も虫が食べることで土にかえる助けをしているし、川に流れた山の木々の葉っぱも下流に下るまでに川にすむ水生昆虫のエサになっているのです。

パセリの葉を食べるキアゲハは、パセリのほかにもセリ科の植物を食べて成虫になります。

パセリといえば、人も食べます。セリ科のニンジンやセリも人は食べるし、ミツバチが子育てするために集めた花のミツも人は大好き！熊も好きみたいです。

肉食の虫たちの中にも、エサとなる虫をガジガジムシャムシャとかみくだいて食べる種類や、特別な液を虫に注入して体を溶かしてその体液を吸いとるカメムシの仲間(タガメやサシガメ)、かわいいホタルも肉食だと知るとちょっと…と思ったり。

このように、虫と食べ物をつなげてみるのも、虫を楽しむことにつながり、虫がたくさんいることの理由を考えてみるのも楽しいですね。

今回は、植物を食べる(草食)グループと、小昆虫や生き物を食べる(肉食)のグループに分けて虫を展示してみました。

まだまだ多くの種類がありますが、わかりやすい種を選んでみました。